

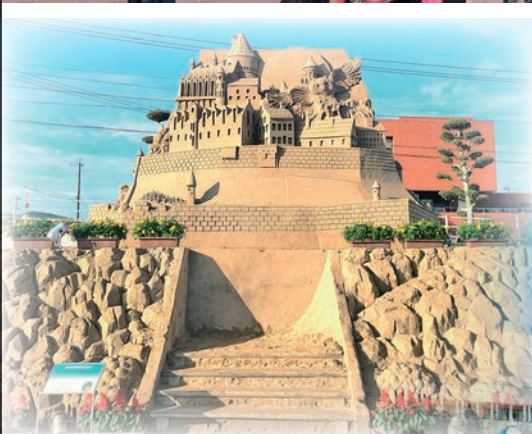
# 地域ネットワークだより



砂でつくる夢と感動! 2024

## 吹上浜 砂の祭典

5月3日(金)、「砂でつくる 夢と感動! 2024吹上浜 砂の祭典」が開幕し、3日間の会期中、約6万3千人の来場者で賑わいました。



今年のテーマは「砂さんぽ～世界の宝物を探しに行こう～」で、スコットランドの「エディンバラ城」やインド「タージマハル」など世界各地の世界遺産の建造物など36基の砂像が展示されました。



今年も昨年に引き続き市役所前の市民交流広場、本町エリア、加世田麓の武家屋敷周辺の3エリアで「まちなか」開催となりました。商店街は歩行者天国となりマルシェやまち歩きなど様々なイベントを楽しむ人の姿が目立ちました。



会期中の3日間とも天候に恵まれ夕方からは砂像のライトアップ、花火の打ち上げも行われ、昼間とは印象が違う幻想的な砂像群を多くの人々が堪能しました。





MBCは県や市町村などと連携してテレビ・ラジオ・WEB・SNSなどで地域の魅力を発信しふるさとを元気にする集中プロモーション「MBCふるさとプロジェクト」を行っています。今年度第1弾は37回目をむかえた吹上浜砂の祭典(5/3～5)に合わせ「南さつまウィーク」を展開しました。



テレビ番組「あの日のふるさと(月～金 午後6時55分～)」では40年前の1984年に廃線となった鹿児島交通枕崎線(通称:南薩線)の最終列車の様や、鉄道の廃止で落ち込む地域を元気にしたいとスタートした1987年の「第1回砂の祭典」の映像などを日替わりで放送しました。



オープニングを翌日にひかえた2日にはTBS系列の夕方ニュース番組「Nスタ」内で会場から上塘百合恵アナウンサーが全国中継を行い「砂の祭典」の準備の様を伝えました。また水曜よる7時からのテレビ番組「てくてく」では南さつま市の「まちなか」を巡るサイクリング特集を放送しました。その中で、100年以上前の武家屋敷群や、2019年に日本遺産に認定された加世田麓で行われる鍛冶体験などを紹介しました。



ラジオではラジオカー・ポニー号が1週間「モーニングスマイル(月～金 午前6時30分～)」で「砂の祭典」の準備を進めるスタッフを訪れてレポートしました。本町商店街は会期中、歩行者天国になりグルメが楽しめる本町商店街や、3つのエリアで鑑賞できる砂像の見どころなど紹介しました。



# 県内メディア防災会議開かれる

5/17(金)MBCで「県内メディア防災会議」が行なわれました。

これは、梅雨の出水期を前に防災への取り組みや過去の事例を共有し継続的な放送活動に活かそうと、県内のケーブルテレビやコミュニティFM、WEBメディアと共に行っているものです。

10年目をむかえた今回は、奄美群島や大隅半島など県内一円から13団体16名が参加しました。



会議では冒頭、MBCウェザーセンターの住吉大輔気象予報士が今年の梅雨の見通しなどについて説明しました。

また今月末から運用が一部変更になる「線状降水帯の半日予測」について解説しました。これは気象庁が線状降水帯発生の可能性がある場合、半日程前に大雨に関する情報として発表するもので、これまで全国11ブロック単位の発表だったものが、今月28日からは府県単位で発表されるようになります。

続いて地震防災のパートでは今年1月に発生した能登半島地震で、自身も被災しながら取材活動を行っている北陸放送能登支局の保蔵篤史カメラマンとオンラインで結び防災当時の状況や震災から5ヶ月が経過した現地を映像を交えて伝えてもらいました。

各メディアからの報告では「FMかのや」から災害時に備え予備の送信所の設置を検討していることや、きめ細やかな情報を伝えるため地域レポーターを養成しているという話がありました。

また始良市の「あいらびゅーFM」からは、商業施設1階にあるスタジオが浸水被害の恐れがあるため、被災時には今年完成したばかりの始良市新庁舎から防災無線の機能を活用して放送ができないか、始良市と検討している事例が発表されました。

温暖化等の影響で年々激甚化が進む災害への備えとして、県民の生命、財産を守るため、MBCでは県内メディアと連携しながら防災、減災報道に力をいれていきます。



# 発信! 現役CAかごしまライフ



4月5日、県内で兼業を行う全日空の客室乗務員(CA)が県庁を訪れ、これまでの取り組みや今年度の意気込みを報告しました。

全日空の移住兼業の取り組みは、コロナ下での働き方の選択肢を増やそうと2年前から始まったもので、県内では8人のCAが霧島市や城山観光などでフライトの合間に兼業で働いています。



その1人、始良市出身の西原亜希子(にしはら・あきこ)さんはMBCで兼業を行い3年目をむかえます。国内はもとより世界各地を訪れるCAならではの目線で、県内各地取材し、ブログ「現役CAかごしまライフ」で地域の魅力を発信しています。



という西原さん。明治時代に造られた石橋・川田橋や、「さつま日光」と称えられる美しい社殿が魅力の花尾神社など、郡山のスポットをカメラ片手に取材



しました。

詳しくはブログ「現役CAかごしまライフ」でご覧下さい。

今年は、吉田・桜島・喜入・松元・郡山の5地域と鹿児島市が合併して20年の節目の年です。

鹿児島市地域づくり推進課の皆さんのご協力を頂きながら、他の4地域、吉田・桜島・喜入・松元の



4月に取材で訪れたのは鹿児島市郡山地区です。温泉を備えた複合施設「スパランド裸・楽・良」で昨年からはまったレンタサイクルを利用して、鹿児島市地域づくり推進課の池田美月さん、郡山支所の善福真夢さんと郡山地区のスポットを巡りました。

仕事やプライベートで様々な国や地域を訪れていく中で、改めて鹿児島の人の温かさや自然・文化の豊かさに気づいた

魅力も発信していきます。

MBCでは、自治体のみなさんと一緒に地域を盛り上げる様々な取り組みを行ってまいります。どうぞお気軽にご相談ください。

